



News

博報堂 広報室

HAKUHODO

Corporate Public Relations Division

tel:03-6441-6161 fax:03-6441-6166

www.hakuhodo.co.jp

2016年7月6日

博報堂、親日・知日外国人を起用した インバウンド戦略立案、商品開発支援サービス「G-Brain」の提供を開始

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：戸田裕一）は、親日・知日外国人とクリエイター、マーケッターが参画して、自治体のインバウンド戦略立案や企業の海外向け商品開発、キャンペーンなどを支援するサービス「G-Brain」の提供を開始いたしました。

G-Brainは、東京大学や早稲田大学などトップ校に在籍する留学生が、海外向け商品開発やインバウンド戦略立案についての評価・助言を行い、そのアイデアを活かして博報堂のクリエイター、マーケッターが商品開発や広告デザイン開発、マーケティング戦略立案を行うワンストップサービスです。



通常、海外向け商品開発や訪日インバウンドの戦略立案の際は、インターネットアンケートやグループインタビューなどでの調査が行われます。しかしG-Brainでは、トップレベルの外国人留学生×企業、自治体担当者×クリエイター、マーケッターによる「アイデア創発ワークショップ」をはじめに実施することで、通常の調査では見えてこないインサイトや知見を獲得することができます。また、そこで生まれたアイデアやコンセプトを生かして、博報堂のクリエイターが具体的なアウトプットを作成していくため、短期間に明確な戦略提案が可能です。

G-Brainフェローには、外国人留学生2800人が登録。東南アジアを中心に、アメリカ、ヨーロッパ、中東からアフリカまで100カ国以上の方々が所属しています。エンジニアが60%、文系が40%、大半が修士号以上の専門性を持つトップグローバルブレインで構成されています。

■G-Brain プロジェクトサイト URL :<http://www.gbrain.me>

<提供サービスイメージ>



■基本フレームの決定

業務内容に応じて G-Brain フェロー、クリエイター、マーケッターを選定し、ワークフローを決定

■G-Brain フェローによる評価・助言

対象製品や地域資源などを複数の G-Brain フェローが評価し、製品化やインバウンド広報施策への助言を行う

■デザイン・マーケティング戦略開発

上記コンセプトをクリエイター、マーケッターにより製品・広告デザイン化。製品化からコミュニケーション施策までワンストップで対応。

<創発ワークショップ風景>

